

## 第5節 不断水式工法（抜粋）

### 1 - 5 - 4 施工

#### 1. 割T字管、不断水式簡易仕切弁

- (1) 割T字管の取り付けは、設計図書によるものとするが、取り付け詳細及び取り付け位置については、監督員の承諾を得て工事に着手しなければならない。
- (2) 割T字管は、原則として管軸に水平に取り付けなければならない。なお、埋設物の関係で水平に取り付けることができない場合は、監督員と協議しなければならない。
- (3) 割T字管取り付け位置決定後、既設管の表面を清掃して取り付けなければならない。
- (4) ボルト締め型の割T字管は、ボルト・ナットが片締めにならないよう注意し、割T字管の各片の合わせ目の隙間が均等になるように、本編第2章 鑄鉄管継手工 に規定するトルクにて締めなければならない。なお、溶接型の割T字管は、仮締めボルトで固定し溶接を行わなければならない。
- (5) 割T字管を既設管に取り付けた後、監督員の指示に従い水圧試験を行わなければならない。水圧試験はエア抜きを十分に行い、水圧 1.0MPa を 5 分間保持できることを確認しなければならない。ただし、最高水圧は、1.25MPa までとする。
- (6) 穿孔機の取り付けに当たっては、支持台及び管保護等を適切に設置し、既設管並びに割T字管等に余分な力を与えないようにしなければならない。
- (7) 垂直穿孔割T字管の穿孔は、底版コンクリート及び割T字管の保護コンクリートの養生完了後に行うものとする。
- (8) 不断水式簡易仕切弁は、弁体挿入時の弁体が全開状態であることを確認のうえ、施工しなければならない。また、施工完了時における弁体が、全開状態であることを併せて確認しなければならない。
- (9) 穿孔時に発生する切粉は、管外に排出し、切断片は完全に除去しなければならない。
- (10) 分岐口径が 40 mm、50mm、75mm、100mm、150 mmの割T字管（仮管を除く）には、ステンレス製密着型防食コアを取り付けなければならない。